

令和6年度シラバス（教科・科目：地理歴史・日本史A）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『現代の日本史（山川出版）』	なし

グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます ① 自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。 ② 勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ③ 社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います ① 少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。 ② 二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。 ③ 自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組めます。 ④ 地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。

学習目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習計画

学習項目	学習内容	試験範囲
第1章 開国と維新(8)	1 明治維新の背景(2) 2 西洋への開国(2) 3 政治秩序の崩壊(1) 4 王政復古と急進的改革(1) 5 新たな対外関係の樹立と内乱の終結(2)	前期中間
第2章 近代国家の形成と発展(9)	1 立憲政治をめざして(1) 2 憲法の制定と議会の開設(2) 3 東アジアの国際環境と条約改正問題(2), 4 清国との戦い(1) 5 藩閥・政党の対立と協力(1) 6 ロシアとの戦い・日露戦後の国際関係と日本(2),	
第3章 産業化の推進と国民生活の変化(7)	1 産業革命の進展(2) 2 資本主義の確立とその特色(2) 3 社会問題の発生(2) 4 国民文化の形成・国民生活の変化(1)	前期期末
第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー(11)	1 第一次世界大戦と日本の外交(2) 2 デモクラシーの高まりと政党(2) 3 国際協調と軍縮の進展(2) 4 政党政治の時代(2) 5 大戦中から戦後の経済と社会(2) 6 都市化と大衆文化(1)	
第5章 第二次世界大戦と日本(10)	1 昭和恐慌(1) 2 協調外交のゆきづまり・満州事変から国際的孤立(2) 3 軍部の政治的台頭・中国との戦い(2) 4 第二次世界大戦と世界新秩序(2) 5 太平洋戦争(2) 6 日本の敗北(1)	後期中間
第6章 占領下の日本(8)	1 占領政策の展開(2) 2 戦後民主主義の定着(2) 3 政治・経済の再建(2) 4 独立の回復(2)	
第7章 日本の自立と経済成長(8)	1 55年体制の成立(2) 2 安保体制下の日本(3) 3 高度成長の光と影(3)	後期期末
第8章 現代の世界と日本(9)	1 激動する世界(2) 2 国内政治の再編成(3) 3 アジア・太平洋地域と日本(2) 4 21世紀の課題(2)	

配当時間計 70 時間 (50 分授業)

評価基準と評価方法

評価は、次の4観点から行う。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
-----------	-----------	----------	--------

<p>授業を中心に学習意欲や協力する態度を身につけ国際社会に主体的に責務を果たそうとする。</p>	<p>発問に対する回答や定期考査などを中心に国際社会の変化を踏まえ公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p>	<p>定期考査のほか、小テストや提出物などを見て、総合的に理解し、その知識を身につけている。</p>
<p>・定期考査および授業シート等の提出。 ・授業への出席状況など。</p>			

<p>授業の進め方、課題・提出物など</p>
<p>・教科書の他に、授業シートや小テスト、リアクション・ペーパーを配布し授業中に使う。 ・授業シートは、作業終了後に提出し、評価の対象とする。</p>

<p>担当者からのメッセージ</p>
<p>・教科書と筆記用具を必ず毎時間用意してくること。 ・成績は定期考査の成績を中心に、出席状況・提出物・授業シート作成の状況や授業態度などを総合的に勘案して評価します。当時の人びとが何を願い行動したかについて考えましょう。</p>